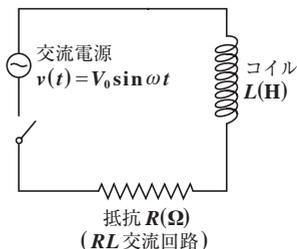


右図に示すように、自己インダクタンス  $L(\text{H})$  のコイルと、 $R(\Omega)$  の抵抗を直列につないだものを起電力  $v(t) = V_0 \sin \omega t$  の交流電源に接続し、時刻  $t = 0$  でスイッチを閉じた。このとき、この回路に流れる電流  $i(t)$  を求めよ。ただし、 $L$ 、 $R$ 、 $V_0$ 、 $\omega$  は正の定数とする。



**ヒント!**

この回路について、(起電力) = (電圧降下) の方程式は、

$V_0 \sin \omega t - L \frac{di(t)}{dt} = R \cdot i(t)$  となる。よって、この両辺をラプラス変換し、 $\mathcal{L}[i(t)] = I(s)$  において、 $I(s)$  を  $s$  の式で表し、これをラプラス逆変換して、電流  $i(t)$  を求めればいいんだね。頑張ろう!

**解答&解説**

この閉回路について、(起電力) = (電圧降下) の方程式は、

$$V_0 \sin \omega t - L \cdot \frac{di(t)}{dt} = R \cdot i(t) \dots\dots \textcircled{1}$$

↑  
コイルによる逆起電力

ここで、電流  $i(t)$  のラプラス変換を、 $\mathcal{L}[i(t)] = I(s)$  とおく。

①の両辺をラプラス変換して、

$$V_0 \underbrace{\mathcal{L}[\sin \omega t]}_{\frac{\omega}{s^2 + \omega^2}} - L \underbrace{\mathcal{L}\left[\frac{di(t)}{dt}\right]}_{sI(s) - i(0)} = R \underbrace{\mathcal{L}[i(t)]}_{I(s)}$$

公式

- $\cdot \mathcal{L}[\sin at] = \frac{a}{s^2 + a^2}$
- $\cdot \mathcal{L}[y'(t)] = sY(s) - y(0)$

$$\frac{V_0 \omega}{s^2 + \omega^2} - Ls \cdot I(s) = R \cdot I(s), \quad I(s) = \frac{V_0 \omega}{(Ls + R)(s^2 + \omega^2)}$$

$$\therefore I(s) = \frac{V_0 \omega}{L} \cdot \frac{1}{\left(s + \frac{R}{L}\right)(s^2 + \omega^2)} \dots\dots \textcircled{2}$$

定数

↓  
部分分数に分解

